

# 都市再生整備計画(第6回変更)

わきちょうちゅうしん ち く  
脇町中心地区

とくしま けん みまし  
徳島県 美馬市

平成22年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	徳島県	市町村名	美馬市	地区名	脇町中心地区	面積	225 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

<b>目標</b> 大目標:観光・リゾートタウンとして、地域の歴史・文化・自然環境を活かした個性あふれるまちづくり 目標1:うだつの町並みを核とした観光スポットの拡大 目標2:歴史的風致と景観の保存 目標3:住民参加による観光・文化活動の推進
---

<b>目標設定の根拠</b> まちづくりの経緯及び現況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は、旧来、合併前の脇町はもちろん、美馬地区の行政、業務の中心地として発展し、形成されてきた。</li> <li>・近年のモータリゼーションの発達や、県道バイパスの整備による、主要官公署の移転、大規模店舗の参入により、商店街の空洞化、経営住民の高齢化、後継者不足等が急速に進んでいる。</li> <li>・当地区内南部に位置する南町の「うだつの町並み」は、昭和61年に住民組織「町並み保存会」が発足、63年には文化庁の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された。</li> <li>・平成元年から伝統的建造物の修理・修復を始め、平成15年度までに指定88棟のうち48棟が完了している。</li> <li>・住民ボランティアによる町並み観光案内、映画「虹をつかむ男」のロケなどで、観光資源としての価値を高めてきた。</li> <li>・うだつの町並み周辺には、広域観光拠点施設として、伝統的建造物である吉田邸を活用した物産センター「藍蔵」や舟着場公園、また脇町劇場(オデオン座)などの整備を行い、物産販売所の設置やグリーンツーリズム事業による滞在型交流施設「美村が丘」の整備で、県外からの観光客の流入を図ってきた。</li> <li>・町並みを核として、城下町の区割りに散策ルートを設定し、点在する歴史景観の連なりを作ってきた。</li> <li>・当地区中央を流れる大谷川には、明治年間に国がオランダから招いた土木技術者ヨハネス・デ・レーケ設計による国内でも最大級の石積の堰堤が残っている。これを保存するために、住民運動や近隣町内会、企業による美化運動、保存運動が盛り上がったことなどから、国、県による親水公園計画が進められてきた。</li> <li>・当地区北部には、民間観光施設「あんみつ館」(洋らの栽培・展示・即売及び加工品の製造販売等)があり、年間約10万人の来館者数がある。</li> <li>・昭和63年に「脇町市街地景観条例」を制定し、市街地景観形成地域、風致保全地区及び伝統的建造物群保存地区を定め、それぞれの保存、保全に力を注いできた。</li> </ul>
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うだつの町並みを中心とした観光資源を活かし、通過型観光ポイントからの脱却を図ることが求められている。</li> <li>・うだつの町並みを訪れる観光客の周遊性を高めるために、大谷川のデ・レーケ堰堤や北部の「あんみつ館」を第2の観光スポットとして充実させるための施設整備が必要である。</li> </ul>
<b>将来ビジョン(中長期)</b> 「観光・リゾートタウン脇町」の核として、歴史と文化、自然環境と共生する「活気あふれる市街地」を形成し、県西部の中核としての役割を果たす。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・合併前の脇町第4次総合振興計画では、「うだつ」に象徴される個性と歴史・文化、優れた自然と都市が共存し、県西部圏域・美馬広域圏の中核的役割を果たし、幅広い地域間交流、都市と農村との交流を進める基盤をもつまちと位置づけられている。</li> <li>・都市計画マスタープランでは、当該地区を、町民の日常生活を支えるとともに、県西部の拠点都市の中心を担う市街地として位置づけ、商業や業務、交流等の高次都市機能の整備・配置を図り、特にうだつの町並みが残る南町周辺は、歴史・文化の中心としての機能充実を図るとし、交流人口の増加、町のアメニティの向上などを目標とした機能を図るとしている。</li> <li>・合併後に設立した美馬観光協会の事業計画では人・歴史・自然・地域・施設・物産の基礎調査を行い、中長期的な視点での美馬市観光ブランド戦略を図っていくこととしている。</li> </ul>

<b>目標を定量化する指標</b>								
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値		
					基準年度		目標年度	
観光バスの駐車時間	分/台	観光駐車場及び道の駅での、観光バス1台当りの平均駐車時間	観光スポットの拡大等で、訪れる観光客入込数、及び滞在時間延長の成度を測る。	50分	H16	90分	H21	
観光関連主要地区来訪者数	人/月	うだつの町並み来訪者数		16,000人	H16	20,000人	H21	
ボランティア活動者数	人/年	デ・レーケ堰堤周辺のボランティア活動者数	住民参加による観光・文化活動の推進	250人	H17	500人	H21	

都市再生整備計画の整備方針等

<p><b>計画区域の整備方針</b></p> <p>うだつの町並みを核とした観光スポットの拡大</p> <p>・うだつに町並み観光を目的として訪れる観光客の、滞在時間の延長、リピート率の向上を図るため、うだつ周辺の寺社、城跡、武家屋敷跡等を、一体的な観光・周遊ルートとして整備を行う。</p> <p>・観光客が楽しみながら周遊できる空間、歴史的町並みとしての景観の連続性や「ほんもの」が実感できる空間を形成するための整備を行う。</p> <p>・大谷川のデ・レーケ堰堤や北部の「あんみつ館」周辺の施設整備を促進し、第2の観光スポットとして充実させることにより、うだつの町並みを訪れる観光客の増大と滞在期間の延長をはかる。</p>	<p>方針に合致する主要な事業</p> <p>■基幹事業 道路 市道脇町4号線          ■基幹事業 道路 市道脇町205号線          ■基幹事業 地域生活基盤施設 サインの一里塚(稲田橋西詰)          ■基幹事業 地域生活基盤施設 藍蔵・傘のサイン(船着場公園)          ■基幹事業 地域生活基盤施設 サインの設置(南町)          ■基幹事業 地域生活基盤施設 サインの設置(吉田邸西側)          ■基幹事業 高質空間形成施設 南町・中町町並み路面舗装高規格化          ■基幹事業 高質空間形成施設 秋葉公園公衆トイレ          ■基幹事業 高質空間形成施設 北橋西詰休憩所          ■基幹事業 高質空間形成施設 松下邸裏小広場          ■基幹事業 高質空間形成施設 南町休憩所(吉田邸横)          ■基幹事業 高質空間形成施設 デ・レーケ堰堤休憩所          ■基幹事業 高質空間形成施設 遊歩道整備(天神地周辺)</p> <p>■基幹事業 高質空間形成施設 モニュメント・照明施設等(南町井戸周辺)          ■基幹事業 高質空間形成施設 電線類地下埋設施設          □提案事業 地域創造支援事業 レンタサイクル整備事業          □提案事業 地域創造支援事業 観光情報・展示リニューアル          □提案事業 まちづくり活動推進事業 南町のれん観実験</p>
<p><b>歴史的風致と景観の保存</b></p> <p>・歴史的風致の保存と、景観を阻害する風致を解消するため、実態調査を行い、保存システムと規制の整備を行う。</p>	<p>□提案事業 地域創造支援事業 脇町劇場(オデオン座)改修          □提案事業 地域創造支援事業 南町復元模型展示(吉田邸2F)</p>
<p><b>住民参加による観光・文化活動の推進</b></p> <p>・現存の文化活動の支援と、新しい活動を発生させるために、リーダー育成や研修、イベントの開催などを行う。</p> <p>・文化活動・ボランティア活動の活性化を図るため、まちづくり意識の向上や文化の継承を高める情報発信を行う。</p> <p>・大谷川のデ・レーケ堰堤周辺に、チューリップ畑をそなえた休憩所を整備し、市内ボランティア活動の活性化を図る。</p>	<p>■基幹事業 高質空間形成施設 デ・レーケ堰堤休憩所</p> <p>□提案事業 事業活用調査 まちづくり活動調査事業          □提案事業 まちづくり活動推進事業 まちづくりワークショップ運営          □提案事業 地域創造支援事業 脇町劇場(オデオン座)改修</p>
<p><b>その他</b></p> <p>1. うだつの町並みについて</p> <p>(1)概要          町並みの長さ 約430m 指定地区の面積 5.3ha 伝統的建造物 88棟 環境物件(石垣や井戸等)65件          修景物件(母屋、塙等)94件          最古の建物 1707(宝永4)年 保存計画 母屋の7割          ※1988年 脇町市街地景観条例の制定          南町地区が「重要伝統的建造物群保存地区」に選定される          ※1989年 伝統的建造物群の修復事業を開始          観光まちづくりに対して          第13回農村アミニコンクール優秀賞(国土庁) 優秀観光地づくり大賞(社日本観光協会)          全国ふるさとづくり賞(財あしたの日本をつくる会) 照明普及賞優秀施設賞(社日本照明学会)          徳島県まちづくり環境大賞(徳島県) 手づくり郷土賞(人と風土が育てた家並み)          日本の道百選 手づくり郷土賞(大賞部門)(建設省)</p> <p>(3)住民と保存活動          1984年「脇町の文化を進める会」が発足、「町並み保存のシンポジウム」「まちづくりフォーラム」等を開催して町民の啓発、意識の高揚に努めた。          また、町並み観光に訪れた人をもてなすボランティアガイド「うだつの町並みウエルカム観光ガイド連絡会」が地元住民により結成され、現在も活動を続けている。</p> <p>2. デ・レーケ堰堤について</p> <p>(1)概要          ダムは横堰といわれ築造は、明治20年。長さ97m 高さ3.8m。現地で調達した石や土、木材を使い地元民の協力も得て、人力で築造。</p> <p>(2)設計者 ヨハネス・デ・レーケ(オランダ)          明治初期、明治政府が西欧の先進技術を移入するために招いた外国人技術者の一人</p> <p>(3)現況          ダムは、現在国の登録有形文化財に指定され、地元住民による「デ・レーケ堰堤を守る会」も結成され、季節の花が咲き乱れる憩いの公園として整備されつつある。</p> <p>3. あんみつ館について</p> <p>(1)概要          ・洋ラン(シンビジウム)の品種改良と種苗生産に取り組み、現在世界一の生産シェアを誇る(株)河野メリクロンの一般見学者を対象としたショールーム及び直売施設として平成3年にオープン。          ・年間約10万人の来館者があり、県西部の民間観光施設としてなご進化し続けている。</p> <p>4. 観光関連事業について</p> <p>(1)関連施設</p> <p>1988年 ふれあい館完成(野崎家)          1989年 法務局跡を郷土資料館に改修          1998年 町並みの電線地中化完了          脇町劇場を町有形文化財に指定          大谷川親水公園整備、デ・レーケの堰堤の修復保存          脇町劇場再建オープン</p> <p>1998～2001年県単独補助事業・観光拠点施設整備事業で、脇町劇場(オデオン座)、吉田邸藍商の館、藍蔵(レストハウス)、舟着場公園を整備</p> <p>2002年 県事業で道の駅「藍ランドうだつ」完成</p> <p>(2)関連組織          平成11年に、オデオン座、吉田邸、うだつ資料館、観光情報センター、物産販売施設「藍蔵」等町営施設の管理受託を行う第3セクター「ふるさとわかまち株式会社」が設立され、町との協働で観光事業の第一線を担っている。</p> <p>(3)グリーンツーリズムの推進          中山間農家を主体とした生活改善グループにより、農産物加工した漬物や豆腐等の大豆加工品などを、町並み等で特産物、土産物として販売している。          特に美村地区では、グリーンツーリズムの核としての交流促進宿泊施設「美村が丘」の活用や、地元農家による体験農業などのイベントを進める「美村塾」を組織化して活動している。</p>	<p>5. 今後の具体的まちづくり</p> <p>(1)吉野川を活かしたまちづくり</p> <p>①水辺プラザ等の国所管の事業誘致により、河川を身近にする計画。          ②県西部運動公園計画の誘致により、広域住民の余暇活動を支援。</p> <p>(2)グリーンツーリズム</p> <p>①貸し農園等による山村リゾート計画          ②有機栽培の特産品作りと直販体制の整備(朝市・常設市)</p> <p>(3)文化のまちづくり</p> <p>①「文化財を活かしたモデル地区」の整備          ②三味線もつぎ等の郷土芸能の継承・保存          ③子ども劇団の活動支援</p> <p>(4)町並みの保存、修復、修景</p> <p>①「町並み」をさらに高質化、ほんもの良さを活かす計画          ②歴史的景観とマッチした市街地づくり、規制</p> <p>(5)第2の観光スポット</p> <p>①大谷川、デ・レーケ堰堤周辺の観光施設の充実          ②あんみつ館周辺の周遊道・サインの整備</p>

都市再生整備計画の区域

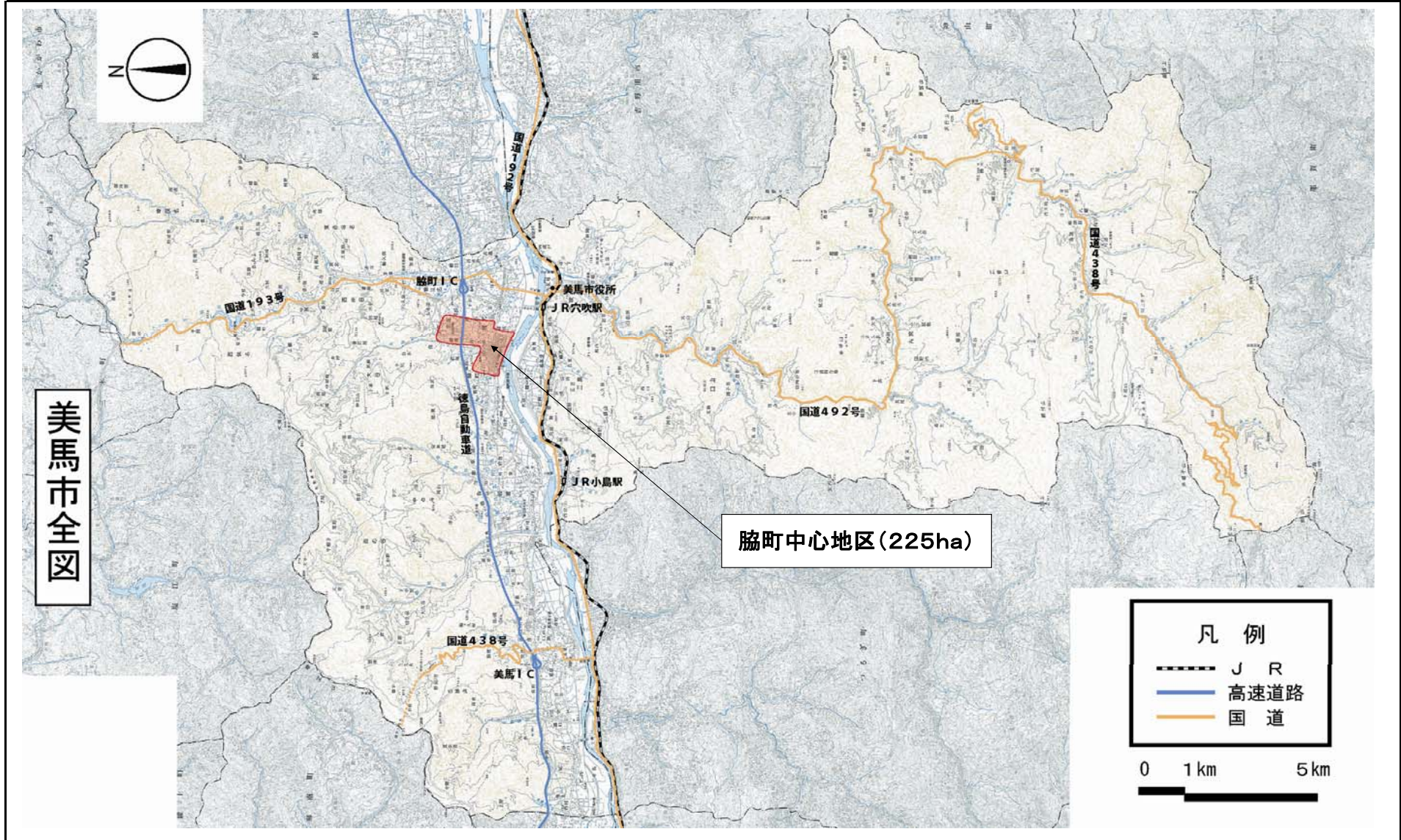
脇町中心地区(徳島県美馬市)

面積

225 ha

区域

御堂裏・大工町・中道・本町・北町・突抜町・町南・大木ノハナ 以下は一部 高島・流・脇町中須  
大屋敷・畳屋敷・北島・小麦谷・佐尾原・西ノ久保・西分・東分・八幡神社下南・道犬・西上野・柴床・北庄



わきまちちゅうしんち く とくしまけん み まし  
 脇町中心地区(徳島県美馬市) 整備方針概要図

目標	観光リゾートタウンとして、地域の歴史・文化・自然環境を活かした個性あふれるまちづくり	代表的な指標	観光バスの駐車時間 (分/台)	50 (平成16年度)	→	90 (平成21年度)
			観光関連主要地区来訪者数 (人/月)	16,000 (平成16年度)	→	20,000 (平成21年度)
			ボランティア活動者数 (人/年)	250 (平成17年度)	→	500 (平成21年度)

